

アイザワ週報

第 2486 号 2022 年 9 月 20 日

審査番号・220913-B1

目次

[今週号は 2022 年 9 月 12 日時点の情報を基に作成しています]

マクロ経済コラム：物価と景気	1
日本株銘柄情報：日本ホスピスホールディングス(7061)	2
日本株銘柄情報：アンビスホールディングス(7071)	3

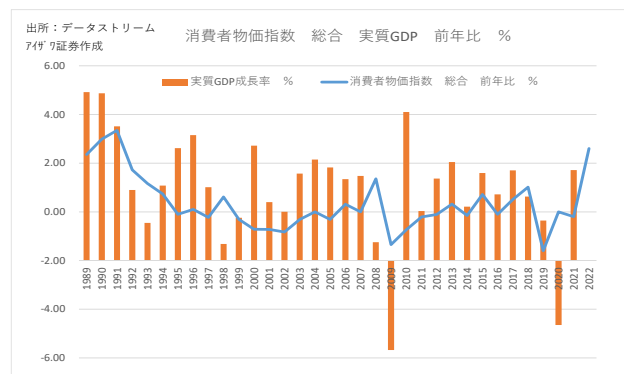
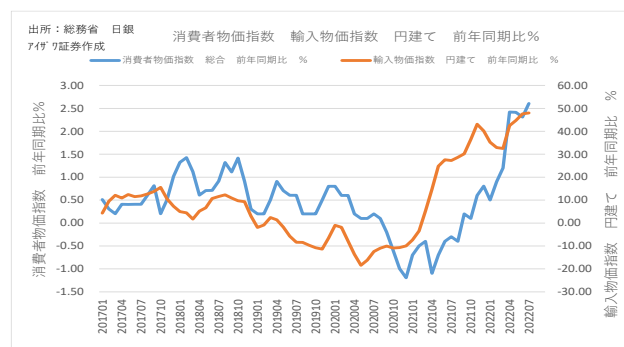
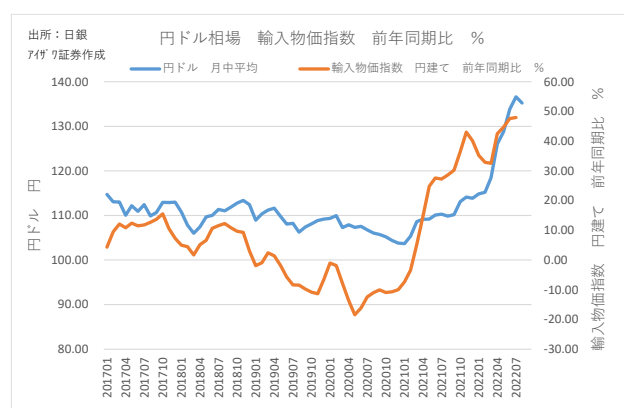
物価と景気

笹木 義次

為替相場で円安が進行しています。為替の円安によって、円建てで示される輸入物価指数も上昇しています。2022 年 7 月の輸入物価指数の前年同期比は 48.0% の上昇となりました。足元では 7 月より円安となっていますので、上昇は継続していると推測できます。

消費者物価指数総合も上昇しています。2022 年 7 月では前年同期比で 2.6% の上昇です。輸入物価指数円建てと消費者物価指数総合の前年同期比を見ると比較的連動している事がわかります。足元での円安の進行は、輸入物価指数の上昇となり、いずれ消費者物価指数の上昇に繋がると考えられます。

過去のデータを見ると消費者物価指数総合が大きく上昇した次の年は、実質 GDP 成長率が低下する傾向があります。消費者物価指数総合は 2022 年 7 月は前年同期比で 2.6% と上昇し今後の上昇が見込まれます。2023 年の実質 GDP 成長率は、こうした消費者物価指数の上昇を受けて、成長率が低下すると筆者は予測しています。



日本ホスピスホールディングス (7061)

笹木 義次

株価指標

株価 (2022/9/12) 2,037.0 円
 売買単位 100株
 市場 東証グロース
 時価総額 163 億円

事業内容

日本ホスピスホールディングス(以下、日本ホスピス HD と略称)は在宅ホスピス事業を運営しています。末期がん患者と難病患者を対象として看取りに対応する終末期ケアを提供しています。食事や住環境など利用者のために生活の質にこだわったケアサービスの提供を重視しています。日本の年間死亡者数は 2021 年が 145 万人と推計されています。2039 年にピークを迎え 167 万人に達すると推計されています。死亡者数の増加にともない受け入れ施設となるホスピスへの需要は増加すると筆者は見えています。

ホスピスチーム作り

日本ホスピス HD では、施設の運営には人材が必要となることから、人材育成とホスピスチーム作りの仕組み化に取り組んできました。人材育成やホスピスチーム作りの仕組み化が構築できた事で、新規施設の開設数を増加させる事が可能になったと筆者は考えています。施設開設数の増加で、事業成長が加速する局面に入りつつあると見えています。

2022 年 12 月期上半期業績実績

日本ホスピス HD の 2022 年 12 月期上半期の業績は、売上高が 35 億 9 百万円と前年同期比で 24.4%の増収に、営業利益は 3 億 6 百万円と前年比で 60.5%の増益となりました。売上高の増収効果で費用の増加を吸収して、営業利益は増益となりました。

<業績の推移>

連結	決算期	売上	営業利益	経常利益	純利益	1株利益	1株配当
	2020/12	4,916	358	206	107	13.6	0.0
	2021/12	6,019	598	417	240	30.3	0.0
	2022/12計	8,000	950	760	450	56.3	0.0

単位:百万円 (1株利益、1株配当は円) 計画は会社計画によります。

<投資指標>

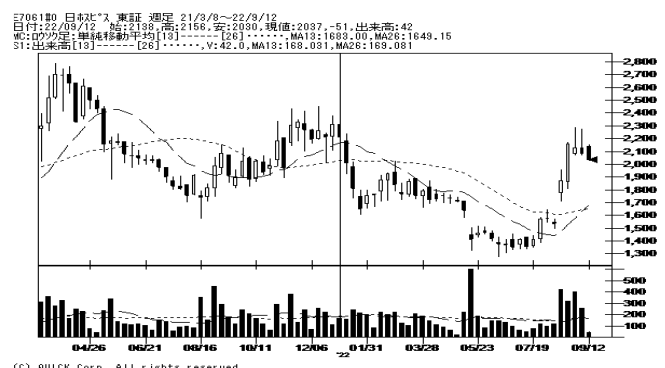
連結	指標	数値
	今期予想PER	36.2 倍
	PBR	9.74 倍
	予想配当利回り	0.00 %

既存施設と新規に開設した施設が寄与して、売上高は増収となりました。2022 年 12 月期上半期には、M&A の 1 施設を含めて、5 施設を新規に開設しました。2022 年 6 月末の施設数は 28 施設 866 室となりました。費用の増加は主に新規の施設の開設等などによるものです。

業績計画

日本ホスピス HD は、2022 年 12 月期の業績は、売上高が 80 億円と前年比で 32.9%の増収を、営業利益は 9 億 50 百万円と前年比で 58.8%の増益を計画しています。新規施設は 8 施設 261 室の開設を計画しています。既存施設の安定稼働と新規施設の寄与から、増収増益を見込んでいます。

筆者は日本ホスピス HD の 2022 年 12 月期の業績は、売上高が 81 億円と前年比で 34.6%の増収を、営業利益は 9 億 75 百万円と前年比で 63.0%の増益を予測しています。既存施設の高水準の稼働が継続すると見込んでいるからです。安定的な事業成長が見込める企業として評価しています。



(C) QUICK Corp. All rights reserved.

出所: AstraManager よりアイザワ証券作成

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、よろしくお願いいたします。

アンビスホールディングス (7071)

笹木 義次

株価指標

株価 (2022/9/12) 5,300.0 円
 売買単位 100株
 市場 東証スタンダード
 時価総額 2,583 億円

事業内容

アンビスホールディングス(以下アンビス HD と略称)は、医療施設型ホスピス医心館の運営を行っています。日本の病院では入院日数の短縮化や在宅復帰を促すものとなっています。医療依存度の高い患者やその家族にとっては、退院後に受け入れてくれる施設が不足しているのが現状です。医心館では、そうした慢性期や終末期にある人に対して、退院後の行き場を提供する役割を担っています。2022 年 6 月期末で、医心館は 56 施設です。

2022 年 9 月期第 3 四半期累計業績

アンビス HD の 2022 年 9 月期第 3 四半期累計の業績は、売上高が 164 億 10 百万円と前年同期比で 53.0%の増収に、営業利益は 43 億 98 百万円と前年同期比で 74.9%の増益になりました。売上高の増収効果と総利益率の改善で費用の増加を吸収して、営業利益は増益となりました。

既存施設が安定稼働し、新規開設した施設も立上げが順調な事から、売上高は増収となりました。2022 年 9 月期第 3 四半期累計の新規施設は 14 施設です。新規施設の稼働率は 50%から 55%程度と比較的高水準となりました。施設の稼働状況に見合った適正な人員配置を行った事から総利益率は改善しました。費用は主に従業員の採用により増加しました。2022 年 6 月末の医療従事者は 2179 人を確保

<業績の推移>

連結	決算期	売上	営業利益	経常利益	純利益	1株利益	1株配当
	2020/9	9,174	1,876	1,779	1,239	27.7	3.0
	2021/9	15,334	3,784	3,779	2,627	56.2	4.5
	2022/9計	22,487	5,800	NA	3,975	81.9	6.0

単位: 百万円 (1株利益、1株配当は円) 計画は会社計画によります。

(注意)2022年1月1日付で1株につき2株に株式分割を行いました。

1株利益、1株配当は過去遡及しています。

<投資指標>

連結	指標	数値
	今期予想PER	64.9 倍
	PBR	13.46 倍
	予想配当利回り	0.11 %

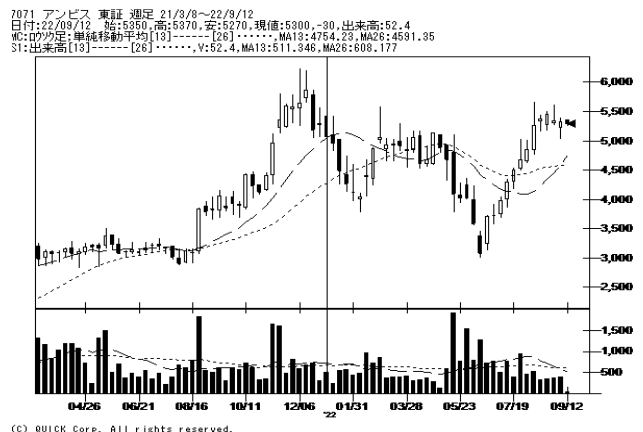
しています。入居者数が 2092 人ですから、入居者を上回る水準です。

業績計画

アンビス HD は 2022 年 9 月期の業績は、売上高が 224 億 87 百万円と前年比で 46.6%の増収を、営業利益は 58 億円と前年比で 53.3%の増益を計画しています。アンビス HD は 2022 年 10 月 1 日付で、1 株につき 2 株の割合で株式分割を行う事を予定しています。

2023 年 9 月期の見通し

アンビス HD では、2023 年 9 月期の新規施設は、17 施設の開設を計画しています。2022 年 8 月末の時点では、17 施設に関しては決定済みとしています。2023 年 9 月期の業績に関しては、2022 年 9 月期並みを前提条件として、売上高は 310 億円と前年比で 37.8%の増収を、営業利益は 80 億円と前年比で 37.9%の増益になると筆者は試算しています。安定的な事業成長が見込める企業として評価しています。



出所: AstraManager よりアイザワ証券作成

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、よろしくお願いいたします。

金融商品取引法に基づく表示事項

■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等：アイザワ証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 3283 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

当社が契約する特定第一種金融商品取引業務に係る指定紛争解決機関：

特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター（略称：FINMAC）

株式の主なリスク

株式は株価の変動等により、損失が生じるおそれがあります。お取引の際は、契約締結前交付書面をよくお読み下さい。

お客様にご負担いただく手数料等について

国内株式は、取引口座に応じて以下の委託手数料（税込）をいただきます。

対面口座：約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

インターネット口座「ブルートレード」：インターネット発注 最大 1,650 円

コールセンター発注 約定代金が 55 万円以下の場合は 1,650 円、

約定代金が 55 万円超 3,000 万円以下の場合は 3,300 円

コンサルネット発注 約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

免責事項

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的としたものです。投資に関する最終決定は、お客様ご自身による判断でお決めください。本資料は企業取材等に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。結論は作成時点での執筆者による予測・判断の集約であり、その後の状況変化に応じて予告なく変更することがあります。執筆担当者または弊社と本レポートの対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。このレポートの権利は弊社に帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

**LINE公式アカウント
はじめました！**

ベトナムを中心としたアジア情報
をお届けします。

[友だち追加はこちらから！](#)



ID : @aizawa